

インマヌエル中目黒キリスト教会

2010年12月12日

聖日礼拝

待降節講壇3

「光について証する」

ヨハネの福音書1章6-12節

19-23節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

ヨハネの福音書1章6-12節
19節-23節

6 神から遣わされた

ヨハネという人が現れた。

7 この人はあかしのために来た。

光について

あかしするためであり、

すべての人が彼によって

信じるためである。

- 8 彼は光ではなかった。
ただ光について
あかしするために来たのである。
- 9 すべての人を照らす
そのまことの光が
世に来ようとしていた。
- 10 この方はもともとから世におられ、
世はこの方によって
造られたのに、
世はこの方を知らなかった。

11 この方は

ご自分のくにに來られたのに、
ご自分の民は受け入れなかった。

12 しかし、

この方を受け入れた人々、
すなわち、
その名を信じた人々には、
神の子どもとされる特権を
お与えになった。

19 ヨハネの証言は、こうである。
ユダヤ人たちが祭司としビ人を
エルサレムから
ヨハネのもとに遣わして、
「あなたはどなたですか」と
尋ねさせた。

20 彼は告白して否まず、
「私はキリストでは
ありません」と言明した。

21 また、彼らは聞いた。

「では、いったい何ですか。

あなたはエリヤですか。」

彼は言った。

「そうではありません。」

「あなたはあの預言者ですか。」

彼は答えた。

「違います。」

22 そこで、彼らは言った。
「あなたはだれですか。
私たちを遣わした人々に
返事をしたいのですが、
あなたは自分を何だと
言われるのですか。」

23 彼は言った。

「私は、
預言者イザヤが言ったように
『主の道をまっすぐにせよ』と
荒野で叫んでいる者の声
です。」

説教

待降節講壇3

「光について証しする」

ヨハネの福音書1章6節-12節

19-23節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「この人はあかしのために来た。
光について
あかしするためであり、
すべての人が彼によって
信じるためである。」

(ヨハネ1：7)

A. バプテスマのヨハネの登場

「神から遣わされた
ヨハネという人」 (6節)

1. 旧約と新約を繋ぐ要(かなめ)

2. ヨハネの誕生と成長

- ・ 奇跡の子として誕生
- ・ ナジル人
- ・ 荒野での修行

3. 活動開始

- ・ 悔い改めのメッセージ
- ・ 大センセーション

B. 光ではなく・・・

「彼は光ではなかった。」

(7節)

1. 「光ではない」：

キリストの「引き立て役」

2. 三重の否定

- 「キリストではない」
- 「エリヤではない」：
(2列王1：8、ルカ1：17、
マラキ4：5参照)
- 「あの預言者でもない」：
(申命記18：15)

3. 私たちも脇役

- 創造の目的は
神の栄光を表すため
(イザヤ43:7)
- 贖いの目的は
キリストの光を示すため
(2コリント4:6-7)

C. 光について証しする

「光についてあかしするため、
すべての人が彼によって
信じるため」（7節）

1. キリストが光

- 神を示す光：（18節）
- 恵みと愛を与える光（16節）
- 命を与える光：
（29、33節、8：12）

2. 道を備える

- ・「見えない」声として
- ・道を備える声として（23節）

3. 多くの人が彼によって信じた

おわりに：

私たちも「ヨハネ」となろう

- ・内なるキリストを人々に示す
- ・証し的な日常生活を